

令和5年度 第2回総合教育会議

## 清瀬市における不登校対策について

### 【不登校】

長期欠席者（年間30日以上 の欠席者）のうち『何らかの心理的，情緒的，身体的あるいは社会的要因・背景により登校しないあるいはしたくともできない状況にある者』ただし，病気や経済的な理由による者を除いた者（文部科学省定義）

【参考】不登校・ひきこもり対応の費用的効果 (出典:労働政策研究・研修機構)

例えば...、不登校から高校に進学できず、ひきこもりに...



生活保護受給 30才～75才 45年間 月額支給額8万円

支給総額  $8万円 \times 12か月 \times 45年間 = \underline{4,320万円}$



適切に対応した結果...、学校復帰→高校進学→大学進学  
→さらに、中小企業正社員となった場合

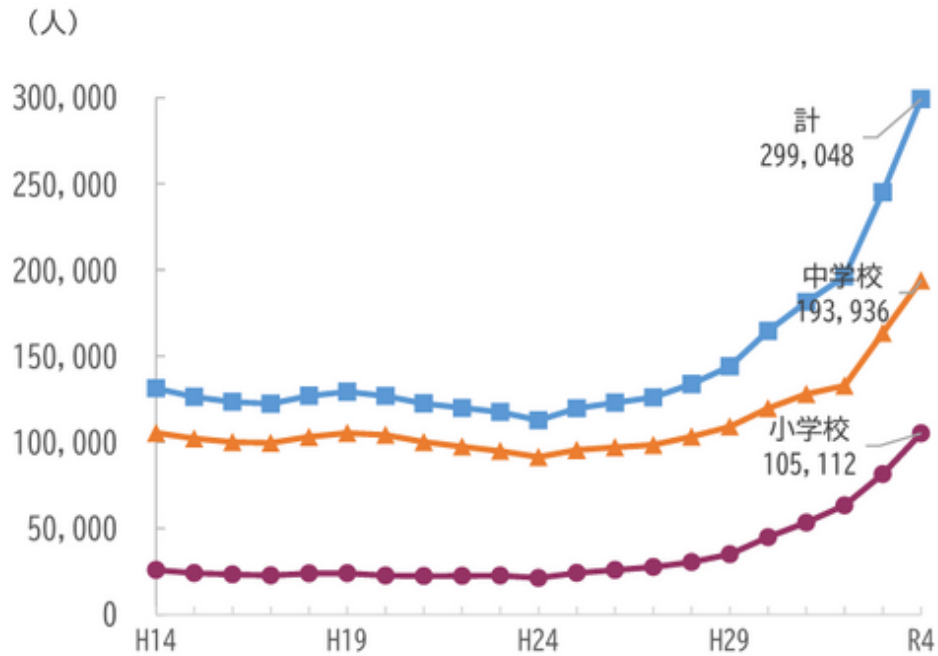
生涯賃金 2億6,000万円 → 生涯納税額 3,010万円



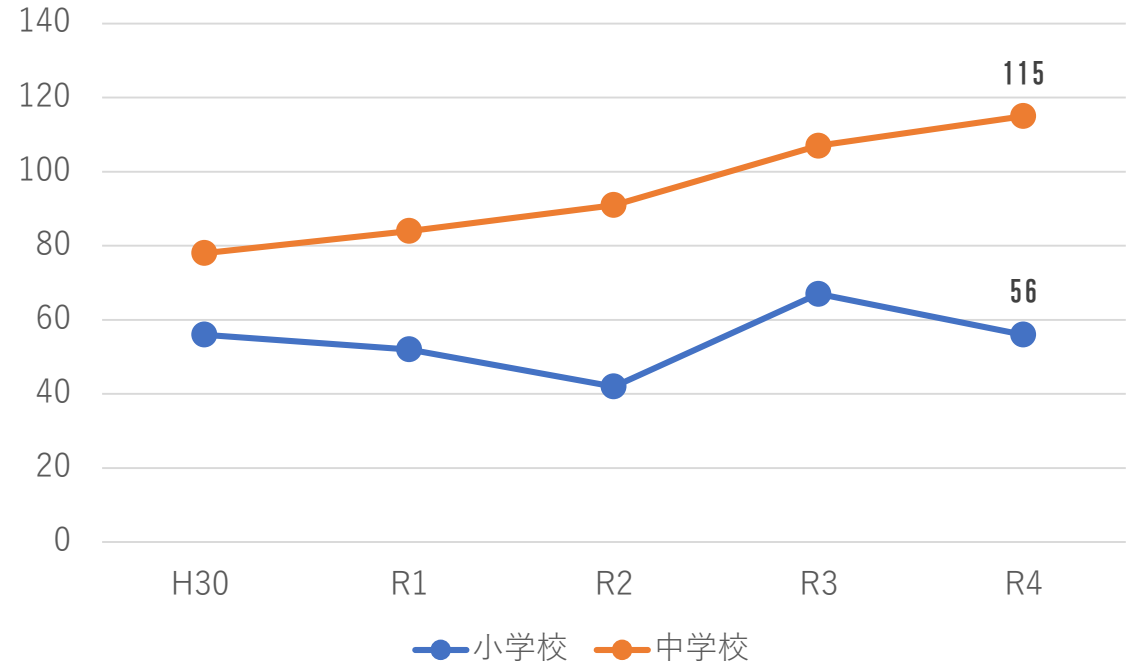
不登校・ひきこもりから社会復帰の効果 (1人あたり) 7,330万円

# 不登校児童生徒の増加が止まらない

## 全国不登校児童生徒数の推移



## 清瀬市不登校児童生徒数推移



○R4小学校の出現率は国、都平均より下回っており中学校は都を下回り、国を上回っている

# 不登校の要因

## 学校にかかる課題

- いじめ
- いじめを除く友人関係をめぐる問題
- 教職員との関係をめぐる問題
- 学業の不振
- 進路にかかる不安
- 部活動などへの不適應
- 学校の決まりなどをめぐる問題
- 入学・転編入学・進級時の不適應

## 家庭にかかる課題

- 家庭の生活環境の急激な変化
- 親子のかかわり方
- 家庭内の不和

## 本人にかかる課題

- 生活リズムの乱れ・遊び・非行
- 無気力・不安

← **最多**

○本市不登校の要因は、国や都と同様「無気力・不安」が最多となっている

## 消極的不登校

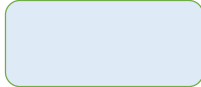
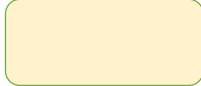
いじめや発達の違い、学習の遅れ、  
無気力、不安などで「**学校に行  
きたくてもいけない**」タイプ

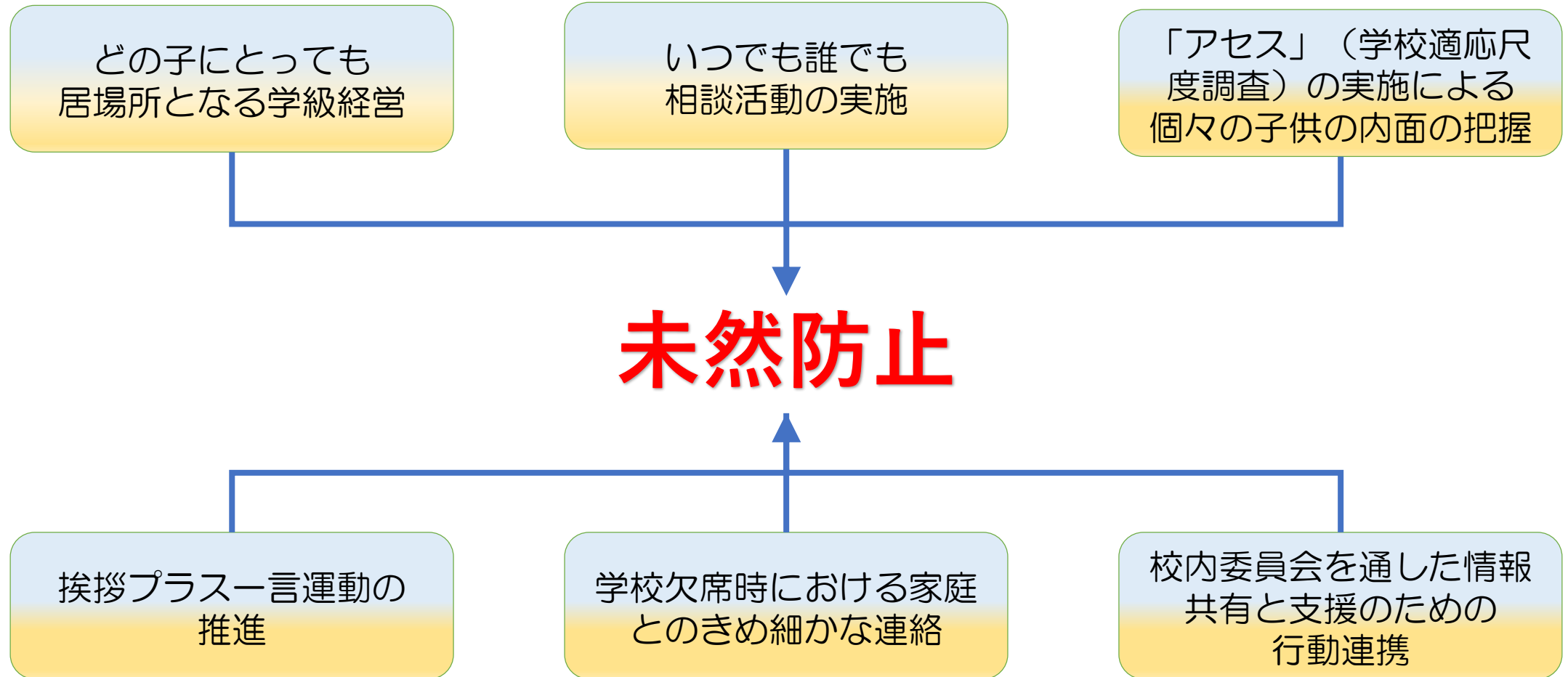
## 積極的不登校

学校というシステムに合わない、  
集団主義や同調圧力に耐えられな  
い、学校教育に必要性を感じない  
など「**学校に行けるけれど行  
かない**」タイプ

**支援の内容や方法が異なる**

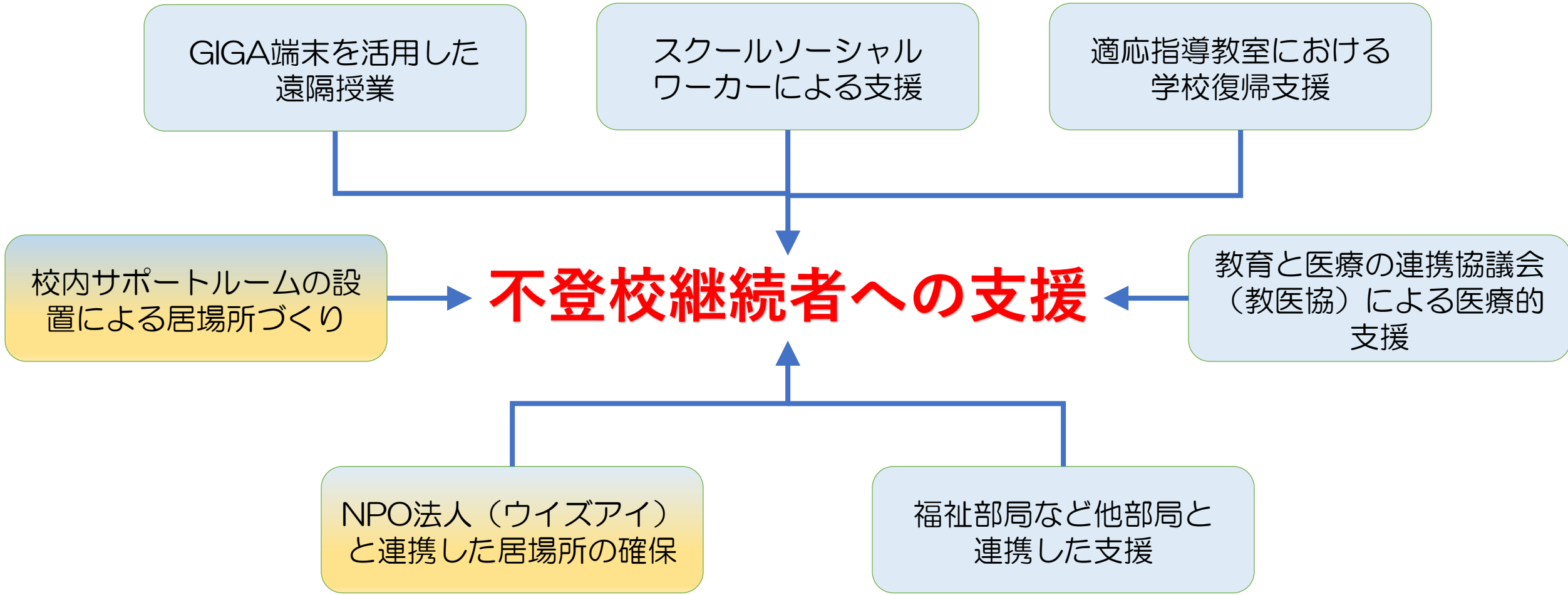
# 清瀬市における不登校対策(1)

 :主に消極的不登校への対策  
 :主に積極的不登校への対策



# 清瀬市における不登校対策(2)

□ :主に消極的不登校への対策  
□ :主に積極的不登校への対策



# 今後実施の検討が求められる支援（未然防止）

個々の子供の気持ちを可視化するアプリの導入

---

「いま」ケアが必要な子どもたちを見逃さない





# 今後実施の検討が求められる支援（積極的不登校への対応）

メタバースによる居場所づくり支援



# 今後実施の検討が求められる支援（積極・消極的不登校への対応）

## 不登校特例校（学びの多様化学校）の設置

### 白石市立白石きぼう学園



# 不登校特例校（学びの多様化学校）の設置

## 岐阜市立草潤中学校



「学校らしくない学校」目指す  
—岐阜市立草潤中学校の挑戦—



「学校らしくない学校」目指す  
—岐阜市立草潤中学校の挑戦—



# 今後実施の検討が求められる支援（積極的・消極的不登校への対応）

## 大学と協働した不登校対策＝宮崎県都城市

○宮崎県都城市は4月、不登校の小中学生の居場所づくりや学習支援を行うため、**適応指導教室「青空ラボ」を市内の南九州大学キャンパスに設置**する。市によると、行政機関が主導して大学に適応指導教室を設置するのは全国的に珍しいという。

○教室は毎週月、水、金曜日の午前9時半～同11時半に開設する。1回当たり20～30人が定員となる見込み。**市教育委員会の教育相談員や同大学の学生ボランティア**が、国語、算数・数学、英語などの主要科目に加え、体育、図工、その他体験活動などについて、子ども一人ひとりのニーズに合わせ幅広く支援する。**不登校になりやすい子どもの心理や障害のある子どもへの対応に詳しい教授らも取り組みをサポート**する。

○**学生のボランティア活動は大学の単位が認定される**ことから、「子どもと学生双方にとって良い仕組みになるのではないか」（担当者）と話している。